

## 北海道洞爺湖サミットへの水素化バイオ軽油(BHD)供給について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、7月7日から9日まで開催される「北海道洞爺湖サミット」にトヨタ自動車株式会社(社長:渡辺 捷昭)と共同で開発した水素化バイオ軽油(BHD)を、各国政府関係者および報道関係者の移手段として使用される一部車両に供給することとなりましたので、お知らせいたします。

BHD(Bio Hydrofined Diesel)は、エネルギー資源の多様化、CO<sub>2</sub>削減の観点から注目されているバイオマス燃料であり、植物油等を原料とし石油精製の水素化処理技術の応用により製造します。従来のバイオディーゼル(FAME)に比べ酸化安定性等に優れた高品位なディーゼル燃料であり、通常の軽油と同等に取り扱うことができます。

2007年10月10日から2008年3月31日の間、東京都、新日本石油、トヨタ自動車、日野自動車が共同で実施している「第二世代バイオ燃料実用化共同プロジェクト」において、最新型ハイブリッドバスにBHDを使用したデモ走行を行っており、日本の優れた燃料技術と車両技術の組み合わせによるCO<sub>2</sub>削減対策が注目されました。

今回、7月5日(土)から7月9日(水)の間、BHD10%配合軽油約1,000Lを、洞爺湖温泉とサミット会場間を運行するシャトルバス等に供給します。

当社は、環境問題が主要テーマとして取り上げられる北海道洞爺湖サミットにおいて、「水素化バイオ軽油」の供給を始め、「家庭用燃料電池システム(エネファーム※)」の展示・デモンストレーション、当社系列SSでの石油連盟による「バイオガソリン」供給などにより、わが国の先進的な環境対応技術を訴求してまいります。

※ 家庭用燃料電池の統一商品名称です。「エネファーム」および「ENE・FARM」は、出願商標です。

以上



BHD使用車両に貼付するステッカー

 [北海道洞爺湖サミットにおける当社取り組みについて\(69.0KB\)](#)